

感染症発生状況

令和8年7月21日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和8年7月6日（月）～7月10日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,502名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 445名 【職員】 4名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 89名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（199名）、咳鼻水（96名）、下痢腹痛（28名）、発疹（15名）

疾病別：溶連菌感染症（19名）、手足口病（17名）、胃腸炎（13名）、
気管支炎・肺炎（9名）

【職員】症状別：熱（1名）、頭痛（1名）、嘔気嘔吐（1名）、下痢腹痛（1名）

疾病別：なし

**暑さとともに夏風邪（手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱）が流行しはじめています。
保育園では手洗い励行をお願いします。**

【疾病別の発生状況】

溶連菌感染症 盛南地区、河南地区で増加しました。河北地区で減少しました。

手足口病 河南地区、都南地区で増加しました。河北地区で減少しました。

胃腸炎 都南地区で増加しました。河北地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 河北地区、盛南地区、河南地区、都南地区で増加しました。

【県の状況（6/29～7/5）】

7月に入り、これから暑い季節が始まります。“夏風邪”といわる手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱等の感染症に注意しましょう。原因はコクサッキーウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスで、発熱や発疹、咽頭痛、結膜炎などの症状を伴います。また、近年夏期に増加傾向がみられるRSウイルス感染症にも注意が必要です。これらの感染症は主に飛沫感染・接触感染により広がるため、予防には丁寧な手洗いと咳エチケットが欠かせません。手指消毒や共有物のアルコール消毒等、日常的な衛生管理も忘れずに行いましょう。

手足口病の定点当たり患者数は1.07人となりました。二戸地区で警報値（5.0人）を超えています。今年は全国で患者数が増加しており、本県も増加傾向が見られるので注意が必要です。口の中や手足に水疱を伴う複数の発疹が現れます。子供を中心に主に夏に流行する感染症です。飛沫感染、接触感染、糞口感染で広がります。乳幼児が集団生活をする保育施設や幼稚園では特に注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いの励行、タオル等の共用を避ける、おむつ交換時等の排泄物の適切な処理が有効です。

溶連菌咽頭炎の定点当たり患者数は2.41人となりました。予防には、患者との濃厚接触を避けること、手洗いの励行、咳エチケットが有効です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】